

こんにちは

会社訪問記

サービス業としての認識を忘れず、
お客様と二人三脚で適正処理にトライ。

海部衛生社

(海部郡弥富町)

海部郡を中心に事業を展開されている海部衛生社に伺い、堀川代表に事業内容、会社の歴史などお話を聞きました。

—— 貴社はいろいろ事業を行っているということですが、主な内容は何でしょうか。

堀川取締役代表（以下堀川に略）『主には、衛生工事の設計施工から保守点検、清掃、上下水道管の清掃、暗渠や側溝の悪水路浚渫清掃工事、高圧洗浄、管内検査テレビカメラ、そして一般廃棄物及び産業廃棄物の収集運搬です。』



堀川取締役代表

—— 最初に手がけられた事業は何ですか。

堀川『当社は最初、海部郡の弥富町、十四山村、飛鳥村のし尿の汲み取りからスタートしています。そして、衛生工事・修理を足がかりに、徐々に産廃や浚渫を手がけ衛生事業の分野での仕事の幅を増やしてきました。創業は昭和49年ですから、今年で満20年を迎えます。』

—— では、産業廃棄物処理業の許可を取られたのは何年でしょう。

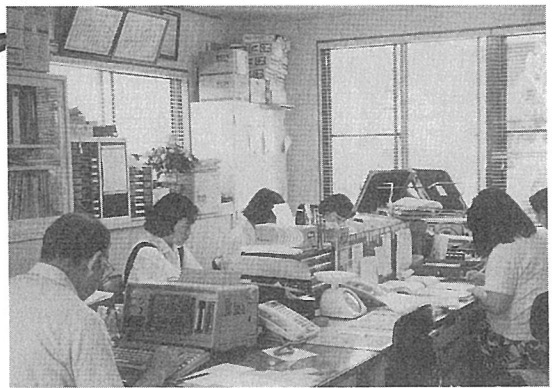
堀川『昭和57年です。産廃はまだ許可を取得してから10年ちょっとですね。』

—— 産業廃棄物処理業の全事業に対する比率はどれくらいですか。

堀川『当社ではどの事業もバランスよく行ってきたいと考えております。ですから、産業廃棄物処理業の比率が突出するようなこともなく、おおむねみんな均等の割合ですね。』

—— 特管物やmanifestoについてはどのように取り組まれていますか。

堀川『特別管理産業廃棄物については、関係品目の許可を取得しております。お客様からご要望があった時



社内

に、できませんではお話になりませんから。manifestoについては、取引させていただいている全てのお客様が使用されています。排出事業所の方々のmanifesto使用に対する自覚は、大変高いレベルにあると思います。』

—— 廃棄物の減量化やリサイクルについてのご意見を聞かせてください。

堀川『減量化やリサイクルについては良いことだと思いますが、ただコスト面で折り合いがつきにくいのが難点でしょうね。当社も将来的には、中間処理施設を設置したいと考えていますが、関係法令等の規制があるのでなかなか簡単にはつくれないでしょうね。減量化やリサイクルを行うことによって上昇する人件費を誰が負担するのか。バランスが難しいですね。』

—— では最後に、従業員教育に対して取り組んでいることを教えてください。

堀川『この業種は基本的にサービス業だと思います。お客様に対してよりよいサービスを提供できるか否かは、従業員とお客様との間に信頼関係が結ばれているかにかかっています。ですから、社員をお客様の担当ごとにブロック別に分け、勉強会を定期的にそれぞれ開かせています。おかげさまで現場でのマナーや応対などもよいと好評をいただいています。』



社名/海部衛生社 所在地/海部郡弥富町海老江1丁目56番地
代表者/堀川政男 創業/昭和49年 従業員/45名
TEL 0567(65)2285 事業所/本社 営業種別/収集運搬
取扱い品目/燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、建設廃材